

ケアマネジャーとケアプラン



“ケアマネジャー” …聞いたことあるけど誰だかよくわからない…。
そんな方が多いと思います。

“ケアマネジャー”とは介護保険制度において「要」となる存在、
資格者のことです。略して“ケアマネ”とよく呼ばれています。本来の名称は『介護支援専門
員』ですが、ケアマネジャー(ケアマネ)という呼称が一般的に広がるようになりました。では、
“ケアマネ”とは介護保険においてどんな役割を果たすのでしょうか？

介護保険の認定を受けても、受けただけではサービスは開始されません。介護保険の介
護サービスは、“ケアプラン”という介護サービス計画によって提供されます。ケアプランは
利用者自身が作成することも可能ですが、市へのケアプラン提出、保険請求(給付管理)等
専門的な業務も必要になることから、“ケアマネ”が作成することが一般的です。介護保険で
はケアプランが作成されて始めて介護サービスが提供されるようになります。

◆“ケアマネ”とはどんな資格を有する人でしょうか…？ (※ は参考資料 参照)

一定の資格を持ち、一定期間の実務経験があると研修を受けるための試験が受験でき
ます。その試験に合格し研修を修了すると“ケアマネ”として都道府県に登録されますが、介
護保険の事業所に所属しなければ、“ケアマネ”として働くことはできません。

◆ケアプランって何？

介護保険を利用される方は少なくとも日常生活に何かしら支障がある方になります。ただ、
どんな方でも、ご自身が望む生活があり、“ケアマネ”はその方が望む生活を送るため、もし
くはそれに近い生活が送れるように支援、お手伝いするのが役割です。

病気の後遺症や生活環境等、望む生活を送ることができない要因を分析し、どうすれば
望む生活が送れるのか、一緒に考え、サービスを調整し、その後の生活を見守っていきま
す。その上で必要であれば、サービスの見直しを行ないます。

ケアプランは、その方が望む生活を送れるように、生活上の目標を立て、その目標達成
に向けてどんなサービスを、どんな頻度で利用するのか、書面に表したものになります。こ
のケアプランを“ケアマネ”が作り、利用者やご家族、サービス提供事業所とその肩の生活
に携わる関係者が共有することで、目標達成に向けて支援していくことになります。

ここで大切になるのが、“ケアマネ”の質や相性です。「“ケアマネ”は利用者の代弁者」と
もいわれます。ケアマネは利用者の方の生活歴や病気のこと、家族関係、住環境等様々な
情報を収集し、その方が望む生活を送るには何が必要なのか、利用者とともに考えます。

利用者の立場からすれば、自分のプライバシーに関わることを“ケアマネ”に話さなくては
なりません。

自分の生活や将来のことを一緒に考えてくれる、自分の訴えを真摯に受け止めてくれる、
そんな“ケアマネ”を見つけることが、介護保険を上手く利用するコツかもしれません…。